No. 💥

担当課	生涯学習課	室・部・局	協働推進部	予算事業コード	139000

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

(4) 国・県の自担 (1) なし 		1二 亚 62 1. 1. 日.	<u> </u>									
②支 出 の 根 拠 関市社会教育団体等活動補助金交付要綱 (3) 一般負担金(団体等への負担金なの分類 ③支 出 先 関市生涯学習ボランティアアドバイザーの会 (5) 個人に対する補助金・負担金(6) その他 ④国・県の負担 なし 国の負担あり 負担割合 負担額 千日県の負担あり 負担割合 負担額 千日 対 象 関市生涯学習ボランティアアドバイザーの会会員及び市民 に対して 手 段 生涯学習の相談活動及び各種講座の開催 を行うことで	①補助金等の名称	称 関市生活	涯学習ボランティ	アアドバイナ	ゲーの会補助金	1 113						
②支 出 の 根 拠 関市社会教育団体等活動補助金交付要綱 金の分類 (3) 一般負担金(団体等への負担金なるの分類 ③支 出 先 関市生涯学習ボランティアアドバイザーの会 (5) 個人に対する補助金・負担金(6) その他 ④国・県の負担 国の負担あり 負担割合 負担額 千月 対 象 関市生涯学習ボランティアアドバイザーの会会員及び市民 に対して 手 段 生涯学習の相談活動及び各種講座の開催 を行うことで						助	(2)	争未開助立	凹冲守	争未に刈りる1	開助並なる)	
3支 出 先 関市生涯学習ボランティアアドバイザーの会 (4)事業負担金(団体等事業に対する負担金)	②支出の根拠	柳. 関市社:	<u> </u>	・動補助全る	5.付亜細	金	(3)一般負担金	金(団体	本等への負担	金など)	
(4) 国・県の負担 (5) その他 (4) 国・県の負担 (5) その他 (6) その他 (6) その他 (7) 女し 国の負担あり 負担額 手間 (8) その他 日間 手間 日間 日間 (6) その他 日間 日間 日間 日間 日間 (5) 支出の目的 日間 日	C 文 田 切 根 厐	及一人	五 数月四 体	判冊均亚ノ	(1) 安州		(4)	事業負担金(団体等	事業に対する	負担金など)	
(4) 国・県の負担 (5) その他 (4) 国・県の負担 (5) その他 (6) その他 (6) その他 (7) 女し 国の負担あり 負担額 手間 (8) その他 日間 手間 日間 日間 (6) その他 日間 日間 日間 日間 日間 (5) 支出の目的 日間 日	⊙± ш #	# <u> </u>	连带到书二\二	ママじょく	# 0	分粗	(5)個人に対	する	補助金・負	担金	
(4)国・県の負担 〇 なし 県の負担あり 負担割合 負担額 千日 対 象 関市生涯学習ボランティアアドバイザーの会会員及び市民 に対して 手 段 生涯学習の相談活動及び各種講座の開催 を行うことで	③文 正 元	元	注子首小フンティ	(アアトハイ)	サーの芸	双	(6)その他				
	小 豆,	0 + 1	国の負	担あり	負担割合	-		負担額			千円	
手段 生涯学習の相談活動及び各種講座の開催 を行うことで	4)国・宗の負担	040	県の負	担あり	負担割合			負担額			千円	
⑤支 出 の 目 的		対象	オ 象 関市生涯学習ボランティアアドバイザーの会会員及び市民 に									
	(S)支出の日的		生涯学習の相談	を行うこと	こで							
			関市生涯学習ボランティアアドバイザーの会会員及び市民									
意 図 生涯学習活動の活性化と積極的な地域づくりを行う という状態にす		意 図	生涯学習活動の	生涯学習活動の活性化と積極的な地域づくりを行う								
⑥期 間 R 3 年 4 月 1 日 ~ R 4 年 3 月 31 日 補助・負担開始年度 平成 13 年度	⑥期 間	間 R 3	年 4 月 1	□ ~ R	4 年 3 月	31 日	補助・	負担開始年度	平月	戊 13	年度	
⑦事 務 局 体 制 主に市の担当課 〇 主に支出先団体 その他 (⑦事 務 局 体 制	制主	に市の担当課	ΟÌ	に支出先団体	7		その他()	
⑧構成員の負担 負担なし 〇 負担あり 負担額 1人 あたり 2,000	⑧構成員の負担	負	担なし	O 負	担あり		負担客	1人	あり	£y <mark>2, 00</mark>	0 円	

2 実績(見込み) 【DO】

<u> </u>							
	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算		補助・負担率を定めている→補助率	
①補助・負担金 の額(千円)	250	250	250	250		単価を定めている→算式	
O) THE (1)	250	250	250	250	0	定額補助・負担 その他 ()
②過去における 見直し状況							
③支出先の決算	R3歳入決算	算額	501 千円	R3歳出決	算額	300 千円 翌年度繰越額	201 千円
③支出先の決算	R3歳入に占め	る補助・負担会	金の割合	49.9 %		決算額を把握していない	

3 事後評価 【CHECK】

	評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か		ボランティアアドバイザーとしての、本来の 役目を発揮できているかどうかについて
UXII	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)		は、見極めていく必要がある
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか		事業は生涯学習課と共催で進める部分が あり、分担等について検討する必要がある
②劝举注	支出額・補助・負担率は適正か	見直す必要がある	のり、万世寺について検討する必安かのる
	補助・負担の目的は達成できているか	少しずつだが達成できつつある	新しい生涯学習の進め方を行うためには重要な役割を持つ組織であるので、育成を図
③有効性	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	らねばならない
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	生涯学習の停滞	

①方 向 性		1現状のまま継続	0	2補助・負担内容を見直す		3縮小・減額を検討
(複数選択可)		4 統合を検討		5終期を設定		6休止・廃止を検討
②課 題	らなし	の生涯学習の振興を図るたい。生涯学習課との事業の過ある。また、人材の育成をど	単め方	で、役割分担等を見直しな	がらよ	

No. 💥

担当課	生涯学習課	室・部・局	協働推進部	予算事業コード	139550

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

	- CO P 3 - C	<u> </u>											
①補助金等の名称	岐阜人	権擁護	養員協議会	武儀部	会	衤	甫一		一般補助金() 事業補助金()				
						— 月	力 _	(Z) =	尹未開 切 並 ()	四冲寺:	事未に刈り	る無助	並なて)
②支 出 の 根 拠	関市社:	스설계	t団体活動支	挥補旪	全态付更綱	3	仓	(3)	一般負担金	色(団体	*等への負	担金	など)
之文 出 O7 很 DE	 	五田山	10 件/1 划入	及邢功	业人们安啊	0		(4) }	事業負担金(団体等	事業に対す	る負担	金など)
@+ III #	at 色 L ·	 4=,+- -==	ᅔᄝీᄼᆇᅕ	/¥ ±07		う *	子 頁 —	(5)	個人に対	する	補助金・	負担:	金
③支 出 先	岐早人	惟摊鸹	委員協議会	此 預計	云	7	汉	(6)	その他				
	O #> I		国の負担	あり	負担割合		-	•	負担額			=	千円
④国・県の負担	Οなし		県の負担	あり	負担割合				負担額			=	千円
	対象	岐阜。	人権擁護委員	協議会	武儀部会						に対して		
⑤支 出 の 目 的	手 段	研修、	相談業務の	補助							を行うこ	とで	
	受益者	会員	(人権擁護委	(員)							が(を)		
	意図	人権氵	舌動、人権村	====================================)活発な活動の	展開	 と	委員 の)資質向上	-	というり	態に	する
⑥期 間	R 3	年 4	月 1 日	~ R	4 年 3 月	31	日礼	甫助・負	負担開始年度	昭和	50	年	度
⑦事 務 局 体 制	主	に市の	り担当課	O È	に支出先団体	<u> </u>		7	の他 ()
⑧構成員の負担	負	担なし	,	O 負	負担あり		負	担額	1人	あた	= 9 2 ,	400	円

2 実績(見込み) 【DO】

_ ><1>< <>>>								
	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算		補助・負担率を定る	めている→補助率	
①補助・負担金 の額(千円)	110	110	110	110		単価を定めてい	る→算式	
0万克 (111)	110	110	110	110		定額補助・負担	その他()
②過去における 見直し状況								
③支出先の決算	R3歳入決算	算額	540 千円	R3歳出決算	算額	278 千円 3	翌年度繰越額	262 千円
の状況	R3歳入に占め	る補助・負担会	金の割合	20.4 %		決算額を把握し	ていない	

3 事後評価 【CHECK】

	評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当	
少女ヨ ほ	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
区划平压	支出額・補助・負担率は適正か	適性	
	補助・負担の目的は達成できているか	達成している	
③有効性	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大いにあり	

①方 向 性	0	1現状のまま継続		2補助・負担内容を見直す	3縮小・減額を検討
(複数選択可)		4 統合を検討		5終期を設定	6休止・廃止を検討
②課 題 (改善状況等)	人権	相談を市民にPRし、利用 ^は	者を均	曽やす。	

No. 💥

+□ 기7 =⊞	上江兴羽 钿	京 动 P	↓力 /£↓ ↓# `/£ ☆□	マダ市サー ド	100750
担当課	生涯字省謀	至・部・局	協働推進部	プ昇事業コート	139750

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

	7 07 P 3 10 1											
①補助金等の名称	関市地	域女性	の会連合会	補助金		神	甫上	_	一般補助金(事業補助金(
							力					
②支 出 の 根 拠	関市社	会教育	T団体等活動	補助金	かけ要細		金	(3,	一般負担金	臣(団1	本寺への貝	担金など)
	1211112	4 771	1 E PT (1 7 L 3/)	1111773 315 2			り	(4)	事業負担金(団体等	事業に対する	負担金など)
@-t	55		- ^ - ^ ^			7	分類	(5)個人に対	する	補助金・負	負担金
③支 出 先	関市地	域女性	の会連合会			7	浿	(6) その他			
		1	日の各担	± 11	名中割入	_		(0				T m
④国・県の負担	Oなし		国の負担		負担割合				負担額			千円
			県の負担	あり	負担割合				負担額			千円
	対象	地域:	女性の会会員								に対して	
⑤支 出 の 目 的	手 段	研修・	·学習会、地均	或の福祉	∵文化事業、及	び市	主任	崔事弟	美への協力		を行うこ	とで
	受益者	地域:	女性の会会員	及び市	民						が(を)	
	意 図	生涯的	学習活動の温	5性化と	積極的な地域で	づくり	を行	う			という状	態にする
⑥期 間	R 3	年 4	. 月 1 日	~ R	4 年 3 月	31	日	補助・	負担開始年度	平原	戊 15	年度
⑦事 務 局 体 制	主	に市の	の担当課	O È	に支出先団体	<u> </u>		7	その他()
⑧構成員の負担		担なり			担あり		賃	担額		あり	<u></u> =บ 20	0 円

2 実績(見込み) 【DO】

	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算		補助・負担率を定めている→補助率				
①補助・負担金の額(千円)	600	600	600	600		単価を定めている→算式				
O) THE (1 1)	000	000	000	000	0	定額補助・負担 その他 ()			
②過去における 見直し状況	平成19年原	平成19年度から、それまで84万円の補助を60万円に減額している。								
③支出先の決算	R3歳入決算	算額 1	<mark>, 028</mark> 千円	R3歳出決算	算額	778 千円 翌年度繰越額	250 千円			
の状況	R3歳入に占め	る補助・負担会	金の割合	58.4 %		決算額を把握していない				

3 事後評価 【CHECK】

	評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当	
①女当ほ	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	ある(県地域女性の会 56千円)	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
区划平压	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
	補助・負担の目的は達成できているか		市の事業推進に関わって、女性の立場からの意見表明や協力体制が取られている。
③有効性	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	でしたなながら、に、四つりにはいい、はなりないといいの。
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	女性団体としての活動の停滞	

①方 向 性	0	1現状のまま継続	2補助・負担内容を見直す	3縮小・減額を検討
(複数選択可)		4 統合を検討	5終期を設定	6休止・廃止を検討
	域の	の立場から積極的に市の事 結びつきや助け合いが弱ま が期待されている。		

No. 💥

+□ 기7 =⊞	上江兴羽 钿	京 动 P	↓力 /£↓ ↓# `/£ ☆□	マダ市サー ド	100750
担当課	生涯字省謀	至・部・局	協働推進部	プ昇事業コート	139750

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

I MODE RECOVER													
①補助金等の名称	関市女	性連絡	協議会補助:	金		補		(1) 一般補助金					
						助	m (2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)						
②支 出 の 根 拠	即古針	仝	団体等活動	は 助 仝 :	5. 付 更 網	金					量金など)		
と文田の根拠	 	五扒日	四件寸石刻	[冊功] 业。	文 [7] 安	のハ		(4)事業負担金(団体等	事業に対する	負担金など)		
③支 出 先	関市女	州 油级	₩₩₩			一 分 類		(5)個人に対	する	補助金・負	担金		
③文 山 元		注理裕	加俄云			7.5		(6) その他					
④国・県の負担	Oなし		国の負担	あり	負担割合			負担額			千円		
4 国・県の負担	0 % 0		県の負担	あり	負担割合			負担額			千円		
	対象												
⑤支 出 の 目 的	手 段	研修活	動や加盟団	体相互	の交流					を行うこと	とで		
	受益者	女性選	툍絡協議会会	員						が(を)			
	意 図	版 図 自らの資質向上と女性団体の活動の活性化を図る という状態にする											
⑥期 間	R 3	3 年 4 月 1 日 平成 10 年度											
⑦事 務 局 体 制	主	に市の)担当課	É O	Eに支出先団体	k.		その他()		
⑧構成員の負担	負	担なし	,	O 負	<u></u> 負担あり								

2 実績(見込み) 【DO】

4+11 41 4	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算		補助・負担率を定	めている→補助率	
①補助・負担金 の額(千円)	95	95	95	95		単価を定めてい	へる→算式	
の方式 (111)	90	90	90	90	0	定額補助・負担	その他()
②過去における 見直し状況								
③支出先の決算	R3歳入決算	算額	139 千円	R3歳出決算	算額	94 千円	翌年度繰越額	45 千円
の状況	R3歳入に占め	る補助・負担会	金の割合(88.3 %		決算額を把握し	ていない	

3 事後評価 【CHECK】

	評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当	
リ女ヨほ	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
区划平压	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている	女性自らが活動を行っている組織である。 市の事業・行政運営に協力するとともに、
③有効性	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	女性の立場から意見提案をしている。
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	女性団体活動の停滞	

①方 向 性	0	1現状のまま継続	2補助・負担内容を見直す		3縮小・減額を検討
(複数選択可)		4 統合を検討	5終期を設定		6休止・廃止を検討
②課 題 (改善状況等)		団体として自主的に活動し、 てきて、活動の広がりが難し		咸少、	また会員が高齢化・固定

No. 💥

担当課	生涯学習課	室・部・局	協働推進部	予算事業コード	139750

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	せきボ	ランティ	アガイドの会	補助金		補助	(1	1) 一般補助金 () 事業補助金(
②支 出 の 根 拠	関市社	市社会教育団体等活動補助金交付要綱 金 (3)一般負担金(団体等への負担金など)		
						分分類		り事業負担金(5)個人に対			· · · · · · ·	
③支 出 先	せきボラ	ランティ	アガイドの会			類		<u>5) 個人に対</u> 6) その他	9 a	開助立・貝	.担並	
	1.	T	国の負担を	あり	負担割合			負担額			千円	
④国・県の負担	Oなし		県の負担で		負担割合			負担額			千円	
	対象											
⑤支 出 の 目 的	手 段	市内名	A所·旧跡、歴	吏∙文化	比、伝統産業等	につい	いての	研修、ガイド	活動	を行うこと	こで	
	受益者	会員及	なび市内児童	、関市~	への来訪者					が(を)		
	意 図	意 図 <mark>関市の文化・歴史等の理解を深めるとともに、その伝承に寄与する</mark> という状態にする										
⑥期 間	R 3	3 年 4 月 1 日 平成 19 年度										
⑦事 務 局 体 制	主	主に市の担当課 〇 主に支出先団体 その他 (
⑧構成員の負担	負	担なし	,	O 負	担あり		負担	額 1人	あ	±り 3,00	0 円	

2 実績(見込み) 【DO】

	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算		補助・負担率を定めている→補助率	
①補助・負担金 の額(千円)	48	48	48	48		単価を定めている→算式	
07 4 (1 1 1)	40	40	40	40	0	定額補助・負担 その他 ()
②過去における 見直し状況							
③支出先の決算	R3歳入決算	算額	81 千円	R3歳出決算	算額	81 千円 翌年度繰越額	0 千円
の状況	R3歳入に占め	る補助・負担会	金の割合	59.3 %		決算額を把握していない	

3 事後評価 【CHECK】

	評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当	
少女ヨ ほ	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
区划学注	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
	補助・負担の目的は達成できているか		関市内の小学校等へのガイド活動は、地域学習へとつながっている。
③有効性	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	子自、Cンながりでいる。
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	関市ガイド活動の減少、歴史学習の機会減少	

①方 向 性	0	1現状のまま継続		2補助・負担内容を見直す		3縮小・減額を検討
(複数選択可)		4 統合を検討		5終期を設定		6休止・廃止を検討
②課 題	への	の文化・歴史等を紹介する」 地域・歴史学習に協力してい 動が停滞しているため、せき	いる。	活動が継続できるよう支援し	てい	きたい。せきガイドグループ

No. 💥

担当課	生涯学習課	室・部・局	協働推進部	予算事業コード	139780
	— / I D IIV	<u> </u>			100700

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

	7 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1										
①補助金等の名称	関市少年	F補導員連絡協議		本等への補助 ま#に対する							
					補助	(2)	争耒舺即宝(到1本寺÷	事業に対する	補助金など)	
②支 出 の 根 拠	関市社会	€教育団体等活動 [;]	埔助全 态付	- 亜細	金の	(3)	一般負担金	(団位	体等への負担金など)		
と文曲の根拠	医工工工	3. 数月四件专行到	事業に対する負担金など)								
③支 出 先	胆士小左	F補導員連絡協議	補助金・負	担金							
③支 出 先	労叩グサ	+									
小国・周の各 担	Oなし	国の負担な	あり 負	担割合			負担額			千円	
④国・県の負担	Uac	県の負担な	あり 負	担割合			負担額			千円	
	対象	市内の少年							に対して		
⑤支 出 の 目 的	手段	補導や相談活動、	を行うこと	こで							
	受益者	市内の少年							が (を)		
	意図	非行・不良化を防	ī止し、社会	会環境を浄化	する				という状態	態にする	
⑥期 間	R 3 年	年 4 月 1 日	~ R 4	年 3 月 3	1 日	補助・	負担開始年度	平成	ኒ 14	年度	
⑦事 務 局 体 制	○ 主に	に市の担当課	主に	支出先団体		7	その他()	
⑧構成員の負担	O 負担	〇 負担なし 負担あり 負担額 あたり									

2 実績(見込み) 【DO】

	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算		補助・負担率を定めている→補助率				
①補助・負担金 の額(千円)	650	450	550	450		単価を定めている→算式				
07 品(1 1 1 7	050	450	550	400	0	定額補助・負担 その他 ()			
②過去における 見直し状況	H30決算時に剰余金300千円を返還し、R1の補助金を減額した。									
③支出先の決算	R3歳入決算	算額	744 千円	R3歳出決算	算額	578 千円 翌年度繰越額	166 千円			
の状況	R3歳入に占め	る補助・負担会	金の割合	73.9 %		決算額を把握していない				

3 事後評価 【CHECK】

	評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当	
①女当ほ	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
区划平压	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
	補助・負担の目的は達成できているか	ほぼ達成できている	
③有効性	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

①方 向 性	1現状のまま継続		2補助・負担内容を見直す	0	3縮小・減額を検討
(複数選択可)	4 統合を検討		5終期を設定		6休止・廃止を検討
②課 題 (改善状況等)	 補導活動については、各別に努めていく。	支部と	との情報交換を密にした活	動を	推進し、青少年の健全

No. 💥

担当課	生涯学習課	室・部・局	協働推進部	予算事業コード	139785

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

① (1) 一般補助金(団体等への補助金など) (2) 事業 局体 制 の 対 (2) 車 を 対 で (3) 一般補助金(団体等への補助金など) (3) 一般負担金(団体等事業に対する負担金など) (3) 一般負担金(団体等事業に対する負担金など) (4) 事業負担金(団体等事業に対する負担金など) (5) 個人に対する補助金・負担金 (6) その他 (6) その他 (7) を 対 象 関市青少年健全育成協議会 に対して 手段 各地区の協議会が相互に連絡協調し、青少年健全育成の諸活動 を行うことで 受益者 市内のすべての青少年 が (を) を 図 健全に育成され、有為な青少年として成長する という状態にする (6) 第 の は の は で (5) 個人に対する補助金・負担金 (6) その他 (7) を (6) を のめ (7) を (7		C 02 L 1.D	<u> </u>	_ / \ \ \											
②支 出 の 根 拠 関市社会教育団体等活動補助金交付要綱 (3) 一般負担金 (団体等への負担金など) (4)事業負担金 (団体等事業に対する負担金など) (5) 個人に対する補助金・負担金 (6) その他 ④国・県の負担 国の負担あり 負担割合 負担額 千円県の負担あり 負担割合 負担額 千円県の負担あり 負担割合 負担額 千円県の負担あり 負担割合 (5) 個人に対する補助金・負担金 (6) その他 対 象 関市青少年健全育成協議会 「に対して 手段各地区の協議会が相互に連絡協調し、青少年健全育成の諸活動を行うことで受益者市内のすべての青少年 が (を) という状態にする ⑥期 間 R 3 年 4 月 1 日 ~ R 4 年 3 月 31 日補助・負担開始年度 昭和 60 年度 ⑦事 務 局 体 制 〇 主に市の担当課 主に支出先団体 その他 (①補助金等の名称	青少年	〉年健全育成協議会補助金												
②支 出 の 根 拠 関市社会教育団体等活動補助金交付要綱 金の分類 (3) 一般負担金(団体等事業に対する負担金などの分類 ③支 出 先 関市青少年健全育成協議会 (5) 個人に対する補助金・負担金(6) その他 ④国・県の負担 (6) その他 中間 原の負担あり 負担割合 見担額 千円県の負担あり 負担割合 見担額 千円県の負担あり 負担割合 負担額 千円県の負担あり 負担割合 負担額 千円 対 象 関市青少年健全育成協議会 に対して 手段 各地区の協議会が相互に連絡協調し、青少年健全育成の諸活動を行うことで受益者市内のすべての青少年 が(を) 意図 健全に育成され、有為な青少年として成長する という状態にする ⑥期 間 R 3 年 4 月 1 日 ~ R 4 年 3 月 31 日 補助・負担開始年度 昭和 60 年度 ⑦事 務 局 体 制 〇 主に市の担当課 主に支出先団体 その他 (ıL	(2) 事	未開助並(当144 辛	事未に 刈りる	補助並なる)		
3支 出 先 関市青少年健全育成協議会 (5)個人に対する補助金・負担金 (6)その他 (4)事業負担金(1)をの他 (5)個人に対する補助金・負担金 (6)その他 (6)その他 (6)をの他 (7)を対して (7)を対しまする (7)を対して (7)を対して	②支出の規拠	関市針	<u> </u>	5.团体生活動	は 田 仝		金		(3) -	一般負担金	(団体	*等への負担	旦金など)		
(6) その他 (4) 国・県の負担 国の負担あり 負担額 千円 財象関市青少年健全育成協議会 に対して 手段各地区の協議会が相互に連絡協調し、青少年健全育成の諸活動を行うことで を行うことで 受益者市内のすべての青少年 が(を) 意図健全に育成され、有為な青少年として成長する という状態にする ⑥期間R3年4月1日~R4年3月31日補助・負担開始年度昭和60年度 (5) 表現の負担 (6) その他 (5) 表現の負担額 エスロー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	と文田の根拠	בריוי נאו	■										事業に対する負担金など)		
(6) その他 (4) 国・県の負担 国の負担あり 負担額 千円 財象関市青少年健全育成協議会 に対して 手段各地区の協議会が相互に連絡協調し、青少年健全育成の諸活動を行うことで を行うことで 受益者市内のすべての青少年 が(を) 意図健全に育成され、有為な青少年として成長する という状態にする ⑥期間R3年4月1日~R4年3月31日補助・負担開始年度昭和60年度 (5) 表現の負担 (6) その他 (5) 表現の負担額 エスロー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<u>э</u> ± ш #	明士丰	小左左	*	<u> </u>		ケーギ		(5)	個人に対	する	補助金・負	担金		
(4)国・県の負担 〇 なし 県の負担あり 負担割合 負担額 千円 対象関市青少年健全育成協議会 「に対して 手段各地区の協議会が相互に連絡協調し、青少年健全育成の諸活動を行うことで 受益者市内のすべての青少年 意図健全に育成され、有為な青少年として成長する という状態にする ⑥期間R3年4月1日~R4年3月31日補助・負担開始年度昭和60年度 ⑦事務局体制 〇主に市の担当課 主に支出先団体 その他(③文 正 元		少午饭	圭王 育队協議	云		75	•	(6)	その他					
県の負担あり 負担割合 負担額 千円 対 象 関市青少年健全育成協議会 に対して 手 段 各地区の協議会が相互に連絡協調し、青少年健全育成の諸活動 を行うことで 受益者 市内のすべての青少年 が (を) 意 図 健全に育成され、有為な青少年として成長する という状態にする という状態にする 色期	小 豆,用 小 各也	0 +> 1		国の負担	あり	負担割合	-			負担額			千円		
手段各地区の協議会が相互に連絡協調し、青少年健全育成の諸活動を行うことで 受益者市内のすべての青少年 が(を) 意図健全に育成され、有為な青少年として成長する という状態にする ⑥期間R3年4月1日~R4年3月31日補助・負担開始年度昭和60年度 ⑦事務局体制 ○ 主に市の担当課 主に支出先団体 その他(4)国・県の負担			県の負担	あり	負担割合				負担額			千円		
⑤支 出 の 目 的 受益者 市内のすべての青少年 が (を) 意図健全に育成され、有為な青少年として成長する という状態にする ⑥期 間 R 3 年 4 月 1 日~R 4 年 3 月 31 日 補助・負担開始年度 昭和 60 年度 ⑦事 務 局 体 制 ○ 主に市の担当課 主に支出先団体 その他 (対象	財 象 関市青少年健全育成協議会									に対して			
受益者 市内のすべての青少年 が (を) 意図 健全に育成され、有為な青少年として成長する という状態にする ⑥期 間R 3 年 4 月 1 日~R 4 年 3 月 31 日 補助・負担開始年度 昭和 60 年度 ⑦事務局体制 ○ 主に市の担当課 主に支出先団体 その他 (手 段	手 段 各地区の協議会が相互に連絡協調し、青少年健全育成の諸活動 で										とで		
⑥期 間 R 3 年 4 月 1 日 ~ R 4 年 3 月 31 日 補助・負担開始年度 昭和 60 年度 ⑦事務局体制 ○ 主に市の担当課 主に支出先団体 ▼ その他 (受益者	市内の	のすべての青	予少年							が(を)			
⑦事 務 局 体 制 〇 主に市の担当課 主に支出先団体 その他 (意 図	健全日	に育成され、	有為な	青少年として	成長	する	5			という状態	態にする		
	⑥期 間	R 3	年 4	月 1 日	~ R	4 年 3 月	31	日補	前助・負	担開始年度	昭和	60	年度		
⑧構成員の負担 ○ 負担なし 負担あり 負担額 あたり 日本の	⑦事 務 局 体 制	O È	に市の	の担当課	Ė	に支出先団体	Z		そ	の他()		
	⑧構成員の負担	O 負	負担なし 負担あり 負担額 あたり									<u>-</u> り	円		

2 実績(見込み) 【DO】

	<u> </u>						
⊕++n + ₽ +n ∧	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算		補助・負担率を定めている→補助率	
①補助・負担金 の額(千円)	980	680	600	700		単価を定めている→算式	
ジ 現(111)	900	000	000	700	0	定額補助・負担 その他 ()
②過去における 見直し状況							
③支出先の決算	R3歳入決算	算額	611 千円	R3歳出決算	算額	608 千円 翌年度繰越額	3 千円
の状況	R3歳入に占め	る補助・負担会	金の割合 気	98.2 %		決算額を把握していない	

3 事後評価 【CHECK】

	評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当	
①女当ほ	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
区划平压	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
	補助・負担の目的は達成できているか	達成に向けて継続中	
③有効性	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	あり	

①方 向 性	0	1現状のまま継続		2補助・負担内容を見直す	3縮小・減額を検討
(複数選択可)		4 統合を検討		5終期を設定	6休止・廃止を検討
	る中	もの健全育成を図るためにで各地区単位での組織の 協力・連携関係を構築して。	充実、	活動の活性化が課題であ	

No. 💥

						1	
担当課	生涯学習課	室・部・局	協働推進部	:	予質事業コード		139785
1— — INV	T/X 1 D IV	<u> </u>			, # + ~ - -		100700

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

		»	1-b-51 ^			O (1)一般補助金	(団体	本等への補助	金など)
①補助金等の名称	関市子と	ごも会育成協議会	補助金		補助	(2)	事業補助金([団体等	事業に対する神	輔助金など)
② 士 山 小 扭 枷	明士分	会教育団体等活動	#매수:	六八西卿	金金					金など)
②支 出 の 根 拠		·	開助立:	文刊安神	のハ	(4)	事業負担金(団体等	事業に対する負	負担金など)
③支 出 先	関末スピ	ごも会育成協議会	は 助全		一 分 類	(5)個人に対	する	補助金・負	担金
<u> Э</u> Х ш л	送いする	_ ひ去月戍励硪去	州以亚		<i>,</i> ,,,,	(6)その他			
④国・県の負担	Oなし	国の負担	あり	負担割合			負担額			千円
一 ポッグ語		県の負担	あり	負担割合			負担額			千円
	対 象	子ども会会員(小中学生)、ジュニアリーダー及び地区単位子ども会に対して								
⑤支 出 の 目 的	手 段	子ども会組織の育	ī 成						を行うこと	とで
	受益者	子ども会会員(小中	学生)、	ジュニアリーダ	一及び均	也区単位	立子ども会		が(を)	
	意図	図健全に育成されるという状態にする							態にする	
6期 間	R 3 年	年 4 月 1 日	31 日	補助・	負担開始年度	昭和	□ 40	年度		
⑦事 務 局 体 制	○ 主に	に市の担当課主に支出先団体					その他()
⑧構成員の負担	負担	担なし	O 負	担あり	,	負担額	1人	あか	ະທ 120	円

2 実績(見込み) 【DO】

	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算		補助・負担率を定め	めている→補助率	<u>x</u>	
①補助・負担金 の額(千円)	1, 212	712	912	1, 100		単価を定めてい	る→算式		
O) DR (1 1)	1, 212	/12	912	1, 100	0	定額補助・負担	その他()
②過去における 見直し状況									
③支出先の決算	R3歳入決算	算額 2	<mark>, 411</mark> 千円	R3歳出決算	算額	1,600 千円 3	翌年度繰越額	811	千円
の状況	R3歳入に占め	る補助・負担	金の割合	37.8 %		決算額を把握し	ていない		

3 事後評価 【CHECK】

	評価項目	担当課による評価	担当課の課題	
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当		
少女当注	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称	なし		
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している		
区划平压	支出額・補助・負担率は適正か	適正		
	補助・負担の目的は達成できているか		子どもの健全育成を図るためには重 要な役割をもつ組織であるので、さ	
③有効性	交付先の事業成果は向上しているか	向上しつつある	らに組織の育成、充実を図る必要が	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響に	子ども会活動の停滞	ある	

①方 向 性	○ 1現状のまま継続	2補助・負担内容を見直す	3縮小・減額を検討
(複数選択可)	4 統合を検討	5終期を設定	6休止・廃止を検討
②課 題 (改善状況等)	中で組織・活動の活性化が課	Dには重要な役割をもつ組織であ 果題である。また、長期化する⊐ 構じつつ活動を徐々に再開できる る。	ロナ禍の中で活動が停滞する

No. 💥

担当課	生涯学習	宮課 室・部	以・局 協働	動推進部 ·	予算事業コード	139785

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

	- C C C C C C C C C C											
①補助金等の名称	関スカワ	ナ育月	战会補助金				(1) 一般補助金(団体等への補助金な) 補 (2) 東業は助会(居体等東帯に対するは助会な					
							助	(2)	(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金な			
②支 出 の 根 拠	即古北	引市社会教育団体等活動補助金交付要綱					金	(3	一般負担金	定(団体	本等への負担	旦金など)
②文 山 の 根 拠		五狄月	四件守心到	門別亚之	人门女們		の	(4)	事業負担金(団体等	事業に対する	負担金など)
③支 出 先	胆っもの	ᇅᅔᇊ	₽ P				分 類	(5)個人に対	する	補助金・負	担金
③支 出 先	関スカワ	ノト目の	以云				灰	(6)その他			
④国,周 の各地	0 # 1		国の負担	あり	負担割合				負担額			千円
④国・県の負担	Οなし		県の負担	あり	負担割合				負担額			千円
	対象	象 市内ボーイスカウト団体 に対して										
⑤支 出 の 目 的	手 段	団の行	う事や奉仕活	動、指導	拿者育成、組 網	哉拡∙	脹∙音	音及活	動への援助	 ታ	を行うこ。	とで
	受益者	スカウ	小活動の参 加	巾者(小	学生~大学生	()					が(を)	
	意 図	健全な社会人として成長する機会を提供するという状態にする							態にする			
⑥期 間	R 3	年 4 月 1 日 ~ R 4 年 3 月				31	日	補助・	負担開始年度	平瓦	戈 7	年度
⑦事 務 局 体 制	Ì	に市の担当課 〇 主に支出先団体				体			その他()
⑧構成員の負担	0 負	担なし	担なし 負担あり				1	負担客	Į	あか	: 1)	円

2 実績(見込み) 【DO】

_ ><1>< <>>>									
	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算		補助・負担率を定め	ている→補助率		
①補助・負担金 の額(千円)	70	70	70	70		単価を定めている	る→算式		
0万克 (111)	70	70	70	70	0	定額補助・負担	その他()	
②過去における 見直し状況									
③支出先の決算	R3歳入決算	算額	747 千円	R3歳出決算	算額	474 千円 翌	2年度繰越額	273 千円	
の状況	R3歳入に占め	る補助・負担会	金の割合	9.4 %		決算額を把握して	ていない		

3 事後評価 【CHECK】

	評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当	
①女当ほ	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性 交付先の事業実績を把握しているか		把握している	
区划平压	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
	補助・負担の目的は達成できているか	ほぼ達成できている	
③有効性 交付先の事業成果は向上しているか 7		ある程度向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	スカウト団体への影響は大きい	

①方 向 性		1現状のまま継続	0	2補助・負担内容を見直す		3縮小・減額を検討
(複数選択可)		4 統合を検討		5終期を設定		6休止・廃止を検討
②課 題 (改善状況等)	第1[いく。	団、第2団とも、団員の減少な	が顕著	皆であり、今後2団が1つにた	らり、気	第1団として活動を存続して

No. 💥

担当課	生涯学習課	室・部・局	協働推進部	予算事業コード	141150

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

	FONT TO THE							
①補助金等の名称	関市社会教育視聴覚協議	会補助金	補 (2) 東世林 (2) (2)	団体等への補助金など) 本等事業に対する補助金など)				
			■ 切 — — — — — — — — — — — — — — — — — —					
②支 出 の 根 拠	即士社会教育团体签注制	* 叶		団体等への負担金など)				
②支出の根拠	関市社会教育団体等活動	用切立义的 安神	の (4)事業負担金(団体	本等事業に対する負担金など)				
			分 (5)個人に対す	る補助金・負担金				
③支 出 先	関市社会教育視聴覚協議		領 (6) その他					
	国の負担	あり 負担割合	負担額	千円				
④国・県の負担	○なし 県の負担	あり 負担割合	負担額	千円				
	対象会員及び市民							
⑤支 出 の 目 的	手 段 視聴覚教育振興の	ための事業の実施		を行うことで				
	受益者会員及び市民			が(を)				
	意 図 視聴覚資料・教材の制作及び普及・活用、視聴覚教育の発展に寄与する という状態にする							
⑥期 間	R 3 年 4 月 1 日	~ R 4 年 3 月 3	31 日 補助・負担開始年度 <u>ゴ</u>	平成 10 年度				
⑦事 務 局 体 制	主に市の担当課	〇 主に支出先団体	その他()				
⑧構成員の負担	負担なし	〇 負担あり	負担額 1人	あたり 2,000 円				

2 実績(見込み) 【DO】

_ > 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1								
	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算		補助・負担率を定めている→補助率		
①補助・負担金 の額(千円)	143	143	1/12	143 143		単価を定めている→算式		
07点 (111)	143	143	143		0	定額補助・負担 その他 (
②過去における 見直し状況								
③支出先の決算	R3歳入決算	算額	396 千円	R3歳出決算	算額	382 千円 翌年度繰越額 14 千円		
の状況	R3歳入に占め	る補助・負担会	金の割合	36.1 %		決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題	
(1)妥当性	補助・負担することが適当か	適当		
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)			
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	ボランティアによる手作りの運営を行っており、これを継続したい。	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	- り、これで松松したい。	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	ほぼ達成できている	市の視聴覚教育振興の為、会が果たす役割は大きい。	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している		
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	視聴覚教育振興への影響は大きい		

①方 向 性	0	1現状のまま継続		2補助・負担内容を見直す		3縮小・減額を検討	l
(複数選択可)		4 統合を検討		5終期を設定		6休止・廃止を検討	İ
会員の高齢化が課題であり、若い会員を増やす必要性がある。また、視聴覚機材が古くなってき ②課 題 (改善状況等)							